教員調査

小平市の教育に関するアンケート調査

1 ご自身について

問1 あなたの年齢を教えてください。（1つに○）

1. 20～24 歳	2. 25～29 歳	3. 30～34 歳	4. 35～39 歳
5. 40～44 歳	6. 45～49 歳	7. 50～54 歳	8. 55～59 歳
9. 60～65 歳			

問2 教員としての経験年数を教えてください。（1つに○）

1. 0～4年	2. 5～9年	3. 10～19 年	4. 20 年以上

問3 勤務している学校はどちらですか。（1つに○）

1. 小学校	2. 中学校

問4-1 現在、担任をしていますか。（1つに○）

1. している	2. していない

▶問4-2 【問4-1で、「（担任を）している」に○をつけたときに答えてください】

学年は何年生ですか。

小学校 ・ 中学校 （1つに○） □ 年生 （数字を記入してください）

2 小平市の教育について

問5 あなたが、児童・生徒に身に付けさせる必要があると思うことはなんですか。

（あてはまるもの3つに○）

1. 基礎的な学力	2. 高い学力
3. 基礎的な体力	4. 高い運動能力
5. 規則正しい生活習慣	6. 望ましい食生活
7. ルールや決まりを守る規範意識	8. あいさつや行儀、礼儀作法
9. 健全な心	10. 自分の考えをもつ力
11. 自分の考えを相手に伝える力	12. 課題を見出したり、解決したりする力
13. 自分のことは自分でする自立心	14. 協調性
15. 他者を尊重する心	16. 自分を大切にする心
17. 勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	18. その他（　　）

問6 あなたは、こどもたちや保護者が学校に対してどのようなことを望んでいると思いますか。

（主なもの3つまで○）

1. 教育に対する責任感やこどもに対する愛情を持って接すること
2. わかりやすい授業を工夫すること
3. 生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること
4. こどもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
5. こどもや保護者の相談に快く応じてくれること
6. 担当教科に関して専門的な知識を持っていること
7. こどもに公平に接すること
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること
9. 健康な生活のすごし方を教えること
10. 自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと
11. その他（　　）
12. 特にない、わからない

問7　あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。

（それぞれあてはまるもの1つに○）

項　目	できている	どちらかというとできている	どちらかというとできていない	できていない
1　十分な授業準備をする	1	2	3	4
2　熱意を持って取り組む	1	2	3	4
3　教員として必要な経験を積む	1	2	3	4
4　こどもに愛情を持って接する	1	2	3	4
5　こどもをよく理解する	1	2	3	4
6　学級･学校を円滑に運営する	1	2	3	4
7　保護者と良好な関係を築く	1	2	3	4
8　職場で良好な関係を築く	1	2	3	4
9　倫理観･教員としての自覚を持って職務にあたる	1	2	3	4
10　ICT機器を活用した教育	1	2	3	4
11　特別な配慮を必要とする児童及び生徒への指導	1	2	3	4

問8　あなたは、教員が授業以外で行っている職務などで、優先すべきものは何だと思いますか。

（主なもの3つまで○）

1. 教職員の資質･能力向上のための研修･研究
2. 保護者との連絡や、保護者会、保護者面談など
3. 進路に応じた課外授業や補習、個別指導など
4. 部活動に関する指導
5. 地域行事への参加、地域との連携に関すること
6. 登下校や放課後における対応
7. その他（　　）
8. 特にない、わからない

問9　あなたが、仕事をするうえで重視している業務は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 授業の準備	2. 各種学校行事の準備
3. 学級経営・学年経営に関すること	4. 校務分掌に関すること
5. 会議・打合せ	6. 事務処理
7. 調査・報告書作成	8. 研究・研修に関すること
9. 保護者・PTA対応	10. 地域・行政・関係団体対応
11. 授業以外での学習指導	12. 生活指導
13. 部活動指導	14. 登下校指導
15. その他（　　）	

問 10　あなたが、負担を感じている業務は、どのような業務ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 授業の準備	2. 各種学校行事の準備
3. 学級経営・学年経営に関すること	4. 校務分掌に関すること
5. 会議・打合せ	6. 事務処理
7. 調査・報告書作成	8. 研究・研修に関すること
9. 保護者・PTA対応	10. 地域・行政・関係団体対応
11. 授業以外での学習指導	12. 生活指導
13. 部活動指導	14. 登下校指導
15. その他（　　）	

問 11-1　この 1 年間で、多忙であると感じましたか。（1つに○）

1. とても感じた	2. ある程度感じた
3. あまり感じなかった	4. 感じなかった

→問 11-2 【問 11-1で、「1」、「2」に○をつけたときに答えてください】
多忙感を解消するために有効だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 校務の効率化	
2. ICTなどを活用した業務の効率化（校務 DX や AI の活用など）	
3. 調査や事務関係の提出書類の軽減	4. 教員間の連携・協力体制の構築
5. 苦情や要望のスムーズな処理	6. 会議の効率化（回数を減らす、時間を短縮するなど）
7. 研修の改善（内容ややり方を見直すなど）	8. ノー残業デーなどの実施
9. 部活動の軽減	10. 教材費などの私費の徴収事務の軽減
11. 教員の職務上、多忙感の解消は期待できない	12. その他（　　）
13. 特にない、わからない	

問 12-1　職務上、どのような悩みを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 授業	2. 授業以外の校務
3. 児童・生徒への対応	4. 保護者への対応
5. 学校経営、学級経営	6. 部活動
7. 職場の人間関係	8. 自分の健康
9. 教員として自信がない	10. その他（　　）
11. 特にない	

問 12-2 【上の質問で、「1」～「10」に○をつけたときに答えてください】
悩みを誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 同じ学校の管理職	2. 同じ学校の教職員
3. 他の学校の管理職	4. 他の学校の教職員
5. 教育委員会	6. 自主的な研究会などの仲間
7. 家族	8. 友人
9. 専門的な相談機関	10. インターネットやSNS（LINEなど）
11. AI チャットツール（ChatGPT や Google Gemini など）	
12. 自分で解決する	13. その他（　　）
14. 相談できる人がいない	

問 13　あなたの学校では、問題や課題に対して、組織的に対応していると思いますか。
（最もあてはまるもの1つに○）

1. 対応している	2. ある程度対応している
3. あまり対応していない	4. 対応していない
5. わからない	

問 14　入学時の児童・生徒について、あてはまることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学齢に応じた学力が身に付いていない	2. 学齢に応じた体力・運動能力が身に付いていない
3. 基本的な生活習慣やしつけができていない	4. コミュニケーション力が不十分である
5. 落ち着きがない	6. 意欲的でない
7. その他（　　）	8. 特にない

問 15　問 14 のような、入学時の児童・生徒の課題に対する有効な対策について、あてはまることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 園児と児童・生徒との交流の機会の充実	2. 教師と保育士・幼稚園教諭の交流を深める
3. 幼稚園・保育園と小学校、中学校間の情報交換	4. 幼少期からの一貫したカリキュラムの作成
5. 幼・保・小接続期のカリキュラムの作成	
6. その他（　　）	
7. 特にない	

問 16　小平市の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 学年・学級を超えた共有施設の整備
2. オープンスペースなど、使い方の自由度が高い学習空間
3. 教科の充実を図るための機能的な教室の整備
4. ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実
5. カウンセリング機能のある空間の充実
6. 快適な生活空間
7. 屋内・屋外運動施設の充実
8. 学校の歴史、思い出を伝える場所の整備
9. 環境に配慮した学校施設整備
10. 地域コミュニティの活動や交流の場の整備
11. 防災・防犯に優れた施設の整備

3 小平市の教育施策や教育事業について

問 17　第二次小平市教育振興基本計画に掲げている12の基本的施策のうち、今後小平市で力を入れて行う必要があると思うものを選んでください。（あてはまるもの3つに○）

1. 確かな学力の向上
   （主な取組：授業改善の促進、小・幼・保の連携の推進、読書活動の推進）
2. 健やかな体の育成
   （主な取組：体育的な活動の充実、健康教育の推進、食育の推進）
3. 豊かな心の育成
   （主な取組：人権教育の推進、道徳教育の充実、いじめ防止の推進、不登校対策の充実）
4. 自立心の養成
   （主な取組：キャリア教育の充実、情報モラル教育の推進、外国語教育・国際理解教育の推進）
5. 一人ひとりを大切にし共に学ぶ教育の充実
   （主な取組：小平市特別支援教育総合推進計画の推進、就学相談・教育相談の充実）
6. 教員の資質向上
   （主な取組：教員研修の充実、服務事故防止の取組の徹底、学校における働き方改革の推進）
7. 学校の経営力向上
   （主な取組：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、専門機関等との連携、学校施設を核とした地域コミュニティとの連携）
8. 家庭教育への支援
   （主な取組：家庭教育に係る相談体制の充実、家庭における読書活動の推進）
9. 地域総がかりでの教育の推進
   （主な取組：小平地域教育サポート・ネット事業の推進、こどもの居場所に係る取組の充実、青少年対策地区委員会による青少年健全育成活動の支援）
10. 教育環境の整備
    （主な取組：計画的な学校施設の整備、ICT環境の整備・充実）
11. 多様な学びをつなぐ生涯学習の推進
    （主な取組：公民館事業企画委員会による企画講座の実施、図書館を通じた市民の学ぶ機会の拡充）
12. 生涯学習を通じた地域づくりの推進
    （主な取組：地域の伝統文化の継承と推進、伝統・文化への理解促進）

問 18　あなたの学校では、教員としての資質向上のためのOJTが十分行われていますか。

（1つに○）

1. 十分行われている	2. ある程度行われている
3. あまり行われていない	4. 行われていない
5. わからない	

問 19　次の教育施策や事業のこどもへの効果や教員へのメリットについて、あてはまることは何ですか。（それぞれあてはまるもの1つに○。ただし、16 は中学校のみ）

教育施策や事業	こどもへの効果			教員へのメリット		
	大きい	小さい	どちらともいえない	大きい	小さい	どちらともいえない
1　学習補助員の配置	1	2	3	1	2	3
2　学校公開	1	2	3	1	2	3
3　教員研修の充実	1	2	3	1	2	3
4　外国語活動などにおけるALTの活用	1	2	3	1	2	3
5　体験活動（職場体験、移動教室など）	1	2	3	1	2	3
6　幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携	1	2	3	1	2	3
7　学校図書館の充実	1	2	3	1	2	3
8　スクールソーシャルワーカーの配置	1	2	3	1	2	3
9　巡回相談員（心理士等）の派遣	1	2	3	1	2	3
10　地域住民等のボランティアの活用	1	2	3	1	2	3
11　ICT機器を活用した教育	1	2	3	1	2	3
12　特別支援教育の推進	1	2	3	1	2	3
13　地域の施設との複合化	1	2	3	1	2	3
14　学習履歴の活用	1	2	3	1	2	3
15　双方向型オンライン授業	1	2	3	1	2	3
16　（中のみ）部活動の地域展開・地域連携の取組	1	2	3	1	2	3

問 20　ICT機器の活用によって、こどもに身に付けさせたい力は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 情報収集力	2. プレゼンテーション力	3. 資料作成力
4. 情報モラル	5. コミュニケーション力	6. プログラミング的思考力
7. その他（　　）	8. 特にない、わからない	

問 21　小学校の教科担任制の導入には、どのような効果があると思いますか。
（小学校のみ。あてはまるもの1つに○）

1. 教科の専門性を高められる
2. 複数の大人（教員）が関わる機会が増え、教員による児童理解が深まる
3. 複数の大人（教員）が関わる機会が増え、児童が相談しやすい大人が増える
4. 教材研究が集中して行えるなど、教員の働き方改革につながる
5. その他（　　）
6. 特にない、わからない

4　学校教育と地域との連携について

問 22　地域に協力してほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 授業の指導や内容面でのサポート
2. 学校行事などの手伝い
3. 登下校の見守り・声かけ
4. 花壇やグラウンド整備など
5. あいさつや行儀、礼儀作法の教育
6. 地域の伝統や文化、遊びの伝承
7. 学校外の行事の主催や参加
8. その他（　　）
9. 協力してほしいことはない

問 23　小平市では、学校を核とした地域づくりに向けて、学校・家庭・地域の連携・協働を進めています。そのために、今後どのような取組が必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3. ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる
5. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
6. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7. 教育やこどもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
8. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
9. その他（　　）
10. 特にない、わからない

最後に、小平市の教育や教育委員会に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

以上で終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。